

プロポーザルによる受託候補者選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した受託候補者と契約締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

| | | | |
|-----------|-------------------------------------|-----|-------|
| 業務名 | 学校と家庭をつなぐ情報配信アプリケーション開発業務委託 | | |
| 委託期間 | 平成 28 年 8 月 19 日 ~ 平成 29 年 3 月 17 日 | 担当課 | 学校教育課 |
| 選定した受託候補者 | 株式会社 会津ラボ | | |

2 提案等の審査結果

| 審査日 | 提案書審査 | 平成 28 年 8 月 9 日 | ヒアリング審査 | 平成 28 年 8 月 9 日 |
|-------|---|-----------------|---------|-----------------|
| 選考委員名 | <ul style="list-style-type: none"> ・公立大学法人会津大学 教授 林 隆史 ・会津若松市立小中学校長協議会 副会長 小野木 章 ・会津若松市父母と教師の会連合会 副会長 松澤 典之 ・会津若松市企画政策部 企画副参事 山口 城弘 ・会津若松市教育委員会 部長 佐藤 光一 | | | |
| 審査方法 | <p>選考委員 5 名全員が出席し、提案者 3 者からのプレゼンテーション（提案説明）及びヒアリング（質疑応答）により提案内容を確認した後、審査基準に基づいて各委員が個別に採点を行った。</p> <p>選考委員 5 名中、5 名が最高の評価点を付与した参加者を受託候補者として選定した。</p> | | | |
| 選評 | <p>最優秀者（受託候補者）：株式会社 会津ラボ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム構築と運用の両方において細部まで良く検討されていると高い評価を得た。 ・個人への配信や不審者情報など緊急連絡にも対応したシステム開発を提案しており、実効性が高いとの評価を得た。 ・将来的な機能の拡張も見据え、仕様書に沿った提案であるとの評価を得た。 <p>優秀賞（次点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングを重視している点やアジャイルな手法は、構築後の運用も含め現実的かつ妥当であるとの評価を得た。 ・スマートフォンにおいても、パソコンと同様の見やすさ、タッチパネルによる操作の最適化など、利用者の立場に立った使い勝手の良い提案となっている点が優れているとの評価を得た。 <p>C 社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認証統合など高コストになる可能性やセキュリティ上での課題がある。 ・構築後の運用について、技術的な点や運用面について課題がある。 | | | |

3 審査結果

| 参加者名 | 評価点 | | | | | | 最高点採点者数又は合計点 |
|----------|------------|------------|------------------|------------|---------|------------|--------------|
| | 1: 業務の実施体制 | 2: 類似業務の実績 | 3: 業務に対する基本的な考え方 | 4: 企画提案の内容 | 5: 工程計画 | 6: コストの考え方 | |
| B社 | 41 | 40 | 88 | 158 | 41 | 37 | 0人/5人中 |
| 株式会社会津ラボ | 42 | 40 | 88 | 172 | 43 | 42 | 5人/5人中 |
| C社 | 36 | 41 | 52 | 110 | 39 | 31 | 0人/5人中 |

※ 各参加者は受付順に記載しています。評価点は、審査項目ごとの審査委員の合計点です。